

## 平成 21 年度 第 2 回 理事会 抄録

日時：平成 21 年 6 月 18 日（木）13：00～16：00

場所：市民交流プラザ大会議室 1（郡山市）

出席：杉原（会長）、中村、山根（副会長）、荻原（事務局長）、富岡、古川、長尾（監事）、岩瀬、太田、香山、榎澤、小林（正）、鶴見、早川（常務理事）、大熊、小林（毅）、坂井、澤田、日垣、三澤、山本（理事）、石塚、土井、西野、望月、伊藤（祐）（部・委員長）

### I 審議事項

1. 第 44 回 総会 次第について（伊藤（祐）総会議事運営委員長）  
1) 学会長挨拶、議長・副議長紹介…太田学会長が挨拶した。議長として渡邊忠義氏（あさかホスピタル）、副議長として及川恵孝氏（東北厚生年金病院）が紹介された。  
2) 総会の進行について…日時：6 月 19 日（金）16 時～18 時。会場：ビッグパレットふくしまコンベンションホール。17 日現在、1 万 2289 通の委任状の提出があり、定足数を満たしているが、公益社団法人に移行した場合を想定した目標には 5000 通ほど不足しているので、引き続き努力したい。→承認

2. 三協会会議の組織、運営規程（案）、訪問リハ振興会会則（案）について（会長）  
三協会会議の組織が明確でない面であったので、三協会会長副会長会議とすることとした。目標達成のために時限的な組織案として①「地域リハケアフォーラム」報告書作成委員会②同時改定対策委員会③訪問リハビリテーション振興会、を設置するとなっているが、訪問リハビリテーション振興会の組織、名称について、運営費の負担について、委員会の構成について等々意見が出され、特に振興会については、その名称の問題を再考するべきであるとの意見が出された。理事会の意見を踏まえ、三協会会長副会長会議で提案、調整したい。→継続審議

3. 協会の広報戦略について（榎澤広報部担当理事）  
作業療法 5 カ年計画を基本とし、媒体の現状課題分析、改善点確認、目標設定、広報戦略のターゲット、戦略の達成水準の明確化、実施方法、作業療法 5 カ年との整合性

をポイントとした。他部署との連携、媒体について、専門家に参画してもらう必要性等の意見が出された。いただいた意見をまとめて明記し、再提出する。→ **継続審議**

**4. 社会福祉法人日本介助犬協会入会について**（会長）介助犬を導入する際にADL評価など作業療法士が必要であるとの意見もある。数年前から個人として評議員を務めていた。介助犬を育てていくための団体として信頼できるので、法人会員に協会として入会したい。→ **承認**

**5. 認定作業療法士の認定について**（望月認定作業療法士審査等委員長）更新申請39名、新規申請8名、合計47名について審査を行った。書類不備のため更新申請のうち2名、新規申請のうち1名を保留とした。→ **承認**

## 6. その他

1)「**チーム医療推進協議会（仮称）**」について（小林（毅）理事）医療職種間の連携する場としての協議会設立に向けて、会が6月17日に開催され、中村副会長とともに出席。趣旨について確認し、賛同の方向であれば世話人を選出する。OT協会から世話人を小林（毅）理事に依頼する。7月中旬に世話人会を招集する。→ **承認**

2) **退会者について**（荻原事務局長）死亡による退会者1名。総会で物故者報告をする。→ **承認**

## II 報告事項

**1. 「専門作業療法士への道」（総論）について**（早川生涯教育部担当理事）会員向けに認定を受けるための手引きとして作成した。各専門領域別のものも作成する。

**2. 平成22年度診療報酬改定要望について**（山本・糊澤保険部担当理事）疾患別リハビリテーション料点数見直し、施設基準Ⅰ、Ⅱの取扱人数による算定解釈適正化等10項目、精神科について急性期の入院患者に対する実施時間の見直し等3項目の要望を行った。

**3. 渉外活動報告** **大熊理事**：認知症ケア高度化推進事業小委員会が5月19日、6月9日に行われた。厚労省より委員派遣の依頼があり参加している。**坂井理事**：精神保健従事者懇談会定例会が5月30日に行われた。7月11

ー 12日に第6回精神保健フォーラムが開催される。荻原事務局長：障害者職業能力開発推進会議が5月29日に行われた。障害者職業訓練校の専門職を利用する中の専門職として作業療法士の職名を記載していただく。山根副会長：①今後の精神保健医療福祉のあり方等に関する検討会に昨年4月から参加している。10月に次回法改正に向けて具体的な施策を作成する。②司法精神医療の人材養成事業に2003年12月より委託を受け出席している。

4. 7月～8月の会議日程と出席者について（荻原事務局長）精神保健フォーラムの開催に伴い、三役会を7月4日に変更。7月の理事会は新旧役員、8月の運営調整会は新旧の部・委員長、担当理事出席の拡大会議とする。

5. 作業療法推進活動月間について（大熊士会組織担当理事）平成20年度各都道府県士会の作業療法推進活動の報告がまとまった。

6. その他①荻原事務局長：2件の倫理問題について報告。②香山理事：平成21年度障害者保健福祉推進事業障害者自立支援調査研究プロジェクトで国庫補助がおりる。研究名を「精神科デイケア、外来作業療法、訪問看護等通院医療におけるリハビリテーションのあり方に関する研究」とする。